

“みずあかり” 準備作業 御神火採火 開催当日

開催日時： 2008年10月10日(金) 11日(土)



開催前日の10月10日に御神火をいただきに行きました。

毎年いただきに行っている御神火は、昭和40年3月25日に阿蘇中岳火口から採火されたものを絶やさないように大切に保管されている貴重な御神火です。今年も開催前日に頂いてきました。

いよいよ“みずあかり”開催当日です！



メイン会場の花畑公園でも、吊り灯籠や三角灯籠などの設置作業と、大切な献灯用のボンボリの準備作業をやりました。皆さん毎年ボランティアに参加いただいているお陰で、作業も手馴れてかなりスムーズに進みました。



坪井川に入っのオブジェや浮き灯籠の設置作業。

いよいよ、神事が行われ、“みずあかり”が始まりました。



いづくに会幹事の石原東光石油社長から御神火と、御神水が渡され、神事が行われました。蒲島知事や幸山市長、いづくに会の中山崇城大学学長の献灯も行われ“みずあかり”スタートです。

市民会館前のシンボルロードでも着々と準備が進められています。



いづくにキッズたち二人も巫女として最後まで頑張りました。そしてボンボリ販売は近代経営の女性の方々にいつもながら協力いただきました。

